令和６年度　一ツ葉高等学校

学校自己評価

１．実施校の自己評価

①　アンケート集計結果

②　学校自己評価

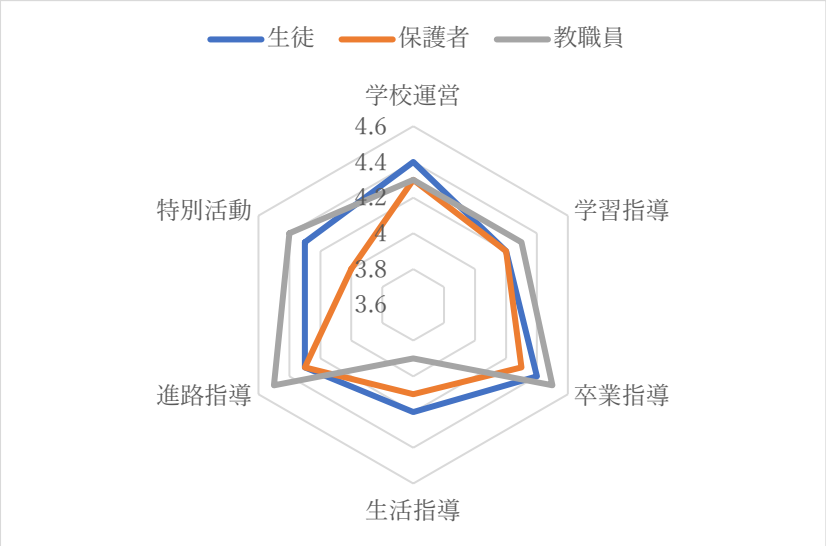
③　実施校　運営方針

④　学校理念

２．学習等支援施設の自己評価

１．実施校の自己評価

①アンケート集計結果



ＭＡＸ＝５．０
全体平均４．２７

②学校自己評価

分野／評価	重点目標	成果と課題	改善点と今後の目標
学校運営 **４．３３** 昨年度４．２０ 生徒　４．４ 保護者４．３ 教職員４．３	スクールミッション、スクールポリシーを実践する。 毎月の会議で成果を点検し、問題点の改善に常に努める。	・昨年度に比べて良い評価にいたっている。 ・一人ひとりを大切にする指導に関しては、多くの生徒、保護者から理解を得ている。 ・全学年大きな差はなく、画一的ではない教育に理解が高い傾向である。 ・進学を目指す教育の評価は高いが、もっとソーシャルスキルを通した学習についての全体的な周知が必要。 ・教職員の理解を更に深めることが必要。	一人ひとりに対する教育は十分なされているが、教職員個々人の力量に負うところが多い。 体調面に不安な生徒に大した対応を充実させる。
学習指導 **４．２３** 昨年度４．１６ 生徒　４．２ 保護者４．２ 教職員４．３	生徒一人ひとりに応じた指導を行う。 自学自習を促す支援を行いながら、生徒一人ひとりの学習意欲向上を果たす。	・ＡＩ教材、オンライン学習の評価得を得ている。 ・多くの生徒は自ら学び、自ら考える力が身に付いてきている。また、添削指導や面接指導を通して適切な指導及び意欲向上を果たせている。 ・一部の生徒は単に課題に取り組むだけという状況であるため更なる指導の改善が必要。 ・生徒一人ひとりに適切な対応ができているかを定期的に確認する必要がある。	なぜ、学習しないといけないのか。どうして、学ぶのかという基本的な事項を再度徹底して、すべての生徒が真摯に学習に取り組む環境を作る。 主体的に学ぶ環境を一年かけて構築する。
卒業指導 **４．４０** 昨年度４．３３ 生徒　４．４ 保護者４．３ 教職員４．５	教職員と生徒、保護者の良好な関係を作ることで、ただ卒業するのではなく卒業後の進路決定を果たす意味を伝える。	・卒業率９９％が果たせたことは教職員と生徒、保護者との連携ができているということだと考える。 ・大半の生徒、保護者は本校への帰属意識があり、人間関係において非常に良好である。 ・各種ツールを用いた相談ができる体制で悩みや問題を早期発見するよう努めているが、更なる強化は必要。 ・担任だけではなく、教職員一丸となり接する	相談するということが高いハードルにならないように、簡単に相談できる体制づくりが必要。 卒業後の進路を決めるために好きなことや興味があることのヒアリングに力を入れる。
生活指導 **４．０６** 昨年度４．００ 生徒　４．２ 保護者４．１ 教職員３．９	ソーシャルスキルを活用する生活を送れるようにする。	・一昨年度とほぼ同じ評価になったので、更なる工夫が必要である。 ・ソーシャルスキの学習を通して、体得できていることを生徒は実践できている。 ・学習内容が保護者まで周知されていない実情と教職員の満足度の低さの改善が今後の課題である。 ・多様な生徒の居場所としてお互い配慮できる生徒が増えてきたのは良い点である。	ソーシャルスキルの教材は年々改良を重ねているが、近年のＳＮＳのトラブルにもっと深く踏み込む内容にすることが必要。
進路指導 **４．３６** 昨年度４．３６ 生徒　４．３ 保護者４．３ 教職員４．５	進路決定率向上に努める。 大学進学だけではなく、専門学校進学や就職のサポートを徹底する。	・大学進学合格実績は過去最高であるが、浪人等が多く評価は上がらなかった。 ・第一志望大学現役合格を目指す生徒が多いため、一人ひとり面談や学習サポートをしていることの満足度が高い。 ・進路が決まらない生徒との面談も満足度が高い。 ・就職についての満足度も低くはないが、まだ改善の余地がある。	大学受験部門については教職員一人ひとりの指導が重要なので、更なる情報収集が必要。 就職も体系的に取り組める環境づくりを行う。
特別活動 **４．２３** 昨年度４．０６ 生徒　４．３ 保護者４．０ 教職員４．４	ソーシャルスキルを実際に実行する場としての活動を行う。	・山都町の住民の実際の声を聴き、山都町を理解するという活動に対して非常に高い評価を得た。 ・特別活動は引き続き生徒、教職員の評価は高い。特に地域高齢者との交流が高い。 ・今まで体験していないことが多いが、率先して参加する生徒が多い。 ・引き続き山都町の良さを伝えていきたい。	体験以外にもグループワークを導入して工夫することが必要。

③実施校 運営方針

２１世紀を迎え、我が国において高等学校へ進学する者の率は９７パーセントを上回る状況が続いている。これは、社会が高等学校教育を必要と見なし、その成果に期待していることの表れである。資源を持たない我が国は、教育に力を注ぐことによって優秀な人材を育て上げ、高い技術力を発揮することで発展を遂げてきた。グローバル化の進展によってますます厳しさを増す国際競争の中で繁栄を維持していくには、さらに教育の力が重要となる。すべての国民の能力に応じた質の高い教育の提供なくしては、我が国の繁栄は継続できないと思われる。

一方で、学校教育の現況に目を移すと、少子化により生徒の数が減少しているにもかかわらず、文部科学省によると令和５年１０月に小・中学校における不登校の生徒が２９万人を超えるという報告がなされている。こうした状況は、明治の学制発布以来連綿と受け継がれてきた学校教育のシステムが一部において機能できなくなっていることを物語っている。戦後急速に進行している価値観の多様化の中で、旧来のマスプロ型集団指導が通用しなくなっていることがその一因であると考えられる。学校教育においては豊かな個性を伸ばす教育をうたっておりながら、現実には生活指導や学習指導についても画一化を図り続けている面が依然として見受けられる。こうした矛盾の中で教育の場から去っていく若者が少なからず存在することは否定できない。また、現在の学校システムでは、一旦軌道を外れるとなかなかもとの学校制度に戻ることができない弊害も生じている。これまでの学校とは異なる、柔軟なシステムの学校が必要とされている所以である。

このような中、通信制高校はその役割を大きく変えてきている。かつての勤労者の就学機関としての役割から、多様なニーズの受け皿としての柔軟な機能が期待されているのである。学習時間や学習方法が厳しく限定されている全日制･定時制高校に比べ、通信制高校は制度上大きな柔軟性が確保されている。求められる出席時間数や学習形態について多様な新しい教育手法を可能とする条件が備わっているのである。我々は通信制高校の持っているこうした制度上の利点を最大限に活用することで、これまでにない新しい学校教育を実現することができると考える。

当社の目指す高等学校の姿は、教育基本法および学校教育法に基づき、心身の発達に応じた高等普通教育を施すと同時に、進学を目指す者には効率的で高度な受験指導を行い、就職を目指すものには有効な資格取得と就職活動を援助するものである。さらに普通教育においては、本校の位置する山都町の地域コミュニティと歴史ある文化、豊かな自然を生かし、生徒の情動面の育成を図る。また、当社のグループ企業群が培ってきたノウハウを用いて、高い学力の獲得や海外文化の吸収も取り入れていく。そして、福岡教育大学との共同研究によって開発した「ソーシャル･スキル」学習を通じて、高い社会性と豊かな表現力を身につけた人材を育成する。「ソーシャル･スキル」学習に関しては、閉塞感のある高等学校学齢の社会性･情動の育成教育において、その効果が大いに期待されるものである。本校での実績を積み上げた後、広く他の高校や多様な教育機関への普及に努めると同時に、その実践を担える指導者の育成にも寄与していく考えである。

本校は、広域通信制単位制高校の形態をとり、山都町の本校を拠点とし、九州各県および全国にその生徒を募集する。近隣の生徒については、日常の学習に本校施設を開放し、教員による学習指導も行う。遠隔地の生徒については、主要都市に日常の学習指導が可能な施設を用意し、本校におけるスクーリング

やＩＴ技術を活用した通信教育を併用しながら学習を進めていく。
　真に生徒一人ひとりの自主性と個性を尊重しながら、それぞれの意欲に応じた多様な教育を提供していくものとする。こうした本校の教育手法は、既存の高等学校ではなし得なかった指導を実現し、高校卒業をあきらめざるを得なかった多くの若者に新たな学習の場と勇気と希望を与えるものである。

④学校理念

１　Mission Statement
私たちは、社会に通用する教養を身に付け、自己実現を目指す実行力のある人材を育てます

２　スクールミッション
夢を育み、実現に向けて歩みだす大切な高校時代にそれぞれの思いを支える学校です。
大学への進学でも、芸術やスポーツ、芸能の道でもそれぞれの目標を応援します。目標が定まっていなければ、これから一緒に見つけます。
少人数での一人ひとりのニーズに応じた学習や幅広い体験を通して、社会を支える人材を育成します。

３　スクールポリシー
育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
（１）社会で生きるために必要な対人関係スキルを育成します
（２）社会で生きるために必要となる基礎学力を育成します
（３）互いの人権を尊重し、命を大切にする心を育成します
（４）自ら考え、判断して行動できる力を育成します
（５）新しいことを学ぶ意欲の向上と、目標に向かって努力できる行動を育成します
（６）将来自立するために必要となる職業観を育成します

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
（１）少人数でのスクーリング（面接指導）を通して、学習だけでなく人間関係の必要性を指導します
（２）学校設定科目「ソーシャルスキル」で基本的な行動指針を指導します
（３）各自が学習の目標を設定し、計画的・自主的に学習を進めることができるように指導します。
（４）学習サポートはキャンパスで対面、またはオンラインで指導します
（５）一人ひとりのレポートに対して、丁寧な添削指導を行い、学習意欲を高めます。
（６）特別活動時間はスクーリング時の行事を認定します
（７）高校卒業に必要な学習を紙とインターネットを併用して行います。
放送視聴やｅラーニングレポートなど多様な学びの中で ICT を活用していきます
（８）成人年齢を正しく認識し、将来の進路決定ができるよう、キャリア教育を実施します。

入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

（1）「自分の夢を実現したい」、「今から自分の夢を見つけたい」という生徒を募集します
（2）他者を尊重し、多様性を認識できる生徒を募集します
（3）個性を大切にして、一人ひとりの考えを尊重できる生徒を募集します
（4）高校卒業後に新しいステージに進もうとする意欲ある生徒を募集します
（5）学習に不安がある生徒でも教員と共にゆっくりと進める生徒を募集します

4　教育理念

生徒一人ひとりの個性と能力、そしてライフスタイルを尊重し、表現力豊かな魅力ある人材を育てる。
生徒一人ひとりの目標や夢をともに共有し、その実現を最優先とする指導を行う。
和を重んじる中、“個”を尊重し、生徒一人ひとりの成長に合わせた指導を行う。

5　支援体制

学習活動の支援に関する方針
（1）生徒一人ひとりのニーズや目標に基づく学習計画の作成
生徒一人ひとりの学習ニーズや目標に合わせた個別学習計画を作成し、進捗状況に応じて定期的に見直しと調整を行います。
（2）学習サポートの実施
実施校が定期的にオンラインまたは対面での学習サポートを提供します。現段階での課題や学習内容を共有しながら、学習効果の向上を図ります。

進路選択の支援に関する方針
（1）進路指導の充実
実施校がオンラインまたは対面での進路相談会を実施し、生徒の進路選択に向けた具体的なサポートを行います。必要に応じて、企業との連携も活用します。
（2）職業体験プログラムの提供
スクーリング時の特別活動として職業体験を実施することがあります。地域との連携を深められることを目的にしています。

心身の健康支援に関する方針
（1）メンタルヘルスサポートの提供
スクールカウンセラーや臨床心理士による定期的なカウンセリングを実施し、生徒のメンタルヘルスを支援します。
（2）身体的健康の維持・促進
学校医、学校歯科医と連携し、健康診断や生活習慣の改善に関する指導を定期的に行います。

２．学習等支援施設の自己評価

評価基準　A 達成できている　B 概ね達成できている　C できていない

評価項目	代々木	立川	横浜	大宮	千葉	博多	福岡西	小倉	熊本	くまもと	名古屋
令和６年度に活動実績（生徒の在籍）がある。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生徒一人当たりのスペースが十分確保され、斜光・通風・換気等、学習に集中できる環境が配慮されている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
緊急時における防災・防犯体制は十分整えられ、生徒が安心した学校生活が送れるよう適切に運営されている。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
災害を想定した防災教育や交通安全指導を行っている。	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
教室やトイレ、共用部分等は定期的に清掃され、生活が保たれている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
学習の補助となる資料や教科書に関連した図書等が十分に揃っている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
学習等支援施設が高等学校の施設であると誤解させない等、適切な看板表記や生徒募集・入学相談に際しては、明確な説明をしている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
単位修得や卒業要件等、通信制課程の仕組みを生徒は理解できている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
生徒一人ひとりの学習進捗状況を把握して、年間指導計画に基づいた丁寧な学習指導ができている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
生徒個々の学習能力に応じて、添削課題の理解度を高め、且つ、提出期日に遅延がないよう計画的な指導ができている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
面接指導の出席（視聴票の提出）計画を的確に指導して、当日は引率をする等して、生徒のサポートに努めている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
対策指導や添削指導で間違えた問題の復習等を通して、理解度の向上に努めている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
校外学習、体験学習等を通して、生徒が多様な経験や体験を得られる機会を提供している。	B	A	B	B	A	B	A	B	B	B	B
本校の「いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止と早期発見に取り組んでいる。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
学校の活動を通して、規則正しい生活習慣や社会の一員としての自主的・自律的な行動について適切な指導を行っている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
生徒の個人情報の保護に十分に配慮している。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
職員の資質向上のために、定期的な内部研修を実施している。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
学校からの配布物等や生徒の学校生活の状況等は、保護者と情報共有されていて、相談や要望に対しても適切に対応している。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
学校との円滑な協力体制が確立され、生徒に適切な時期に書類等を配布して、各種証明書の申請や提出物等の期限を遵守できている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A